

| | | | | | | | | |
|-------------------|--|---|------|---------|-------|----------|-----|----------|
| 授業科目名 | 【G】 世界史概論 | 区分 | 開講年次 | 【G】1 | 単位数 | 【G】2 | | |
| | | その他参照 | | | | | | |
| 科目区分 | 基本科目:【G】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・・・・) | | | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | | | | | | | |
| 担当形態 | 単 独 | 【G】 教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・・・・)科目 | | | | | | |
| 施行規則に定める科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項:「日本史・外国史」(中一種免社会) 「外国史」(高一種免地歴) | | | | | | | |
| サブタイトル | 教養講義(世界史概論) | | | 担当者 | 早川 理穂 | | | |
| 授業概要 | 【概要】 | 西洋史を中心として他地域との関係にも目配せしつつ、世界史の大きな流れを理解できるようにする。また、歴史学の方法論についても学び、様々な歴史的事象の因果関係を意識して学ぶ目を養う。現在の出来事も歴史の積み重ねの上で起こっているということを理解する。 | | | | | | |
| | 【到達目標】 | 教養としての世界史の知識を習得し、現在の出来事を歴史的背景を学ぶことでより深く理解できるようになる。将来社会科教員になることを志す者には、歴史をどのように教えるか、というイメージを明確につかめるようにする。 | | | | | | |
| 履修条件 | 高校の世界史教科書に目を通しておくこと。 | | | | | | | |
| アクティブラーニングの方法 | 【－】 | 事前学習型 | 【－】 | 反転授業 | 【－】 | 調査学習 | 【－】 | フィールドワーク |
| | 【○】 | 双方向アンケート | 【－】 | グループワーク | 【－】 | 対話・議論型授業 | 【－】 | ロールプレイ |
| | 【－】 | プレゼンテーション | 【－】 | 模擬授業 | 【－】 | PBL | 【－】 | その他 |
| ディプロマ・ポリシーとの関連性 | DP(ディプロマ・ポリシー)① | － (当てはまらない) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)② | － (当てはまらない) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)③ | ◎ (よく当てはまる) | | | | | | |
| | DP(ディプロマ・ポリシー)④ | － (当てはまらない) | | | | | | |
| 他科目との関連性 | 歴史学概論も受講することが望ましい。 | | | | | | | |
| 教科書 | 特になし。授業内で必要に応じてプリントを配布する。 | | | | | | | |
| 参考書 | 『世界の歴史』編集委員会編『新 もう一度読む山川世界史』山川出版社、2017年、金澤周作監修『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020年、中井義明他『教養のための西洋史入門』ミネルヴァ書房、2016年。各自の持っている高校世界史教科書。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 平常点(授業態度、授業への積極的参加)30%、学習到達度70% | | | | | | | |
| フィードバック方法 | 双方向アンケートへの講評を授業内に行う。 | | | | | | | |
| 評価基準 | 授業への積極的取り組み(授業内での積極的発言、授業態度、予習・復習への取り組み)を行い、授業内容をよく理解した者は「S」または「A」、以下、到達度に応じて「B」、「C」とする。到達度が著しく低い場合は「D」、「E」とし、評価不能(試験を受けない、授業をほとんど欠席するなど)の場合は「F」とする。 | | | | | | | |

| 授業科目名 | 【G】 世界史概論 | 区分 | 開講年次 | 【G】1 | 単位数 | 【G】2 |
|-------|--|-------|------|------|-----|------|
| | | その他参照 | | | | |
| 授業回数 | 授業内容 | | | | | |
| 1 | ガイダンス 歴史学とは何か。 予習： 自分が抱く歴史のイメージを書き出してまとめる。(2時間) 復習： 予習時の歴史のイメージと授業内容を比較する。(2時間) | | | | | |
| 2 | 古代ギリシア世界 民主政と古典文化 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 3 | 古代ローマ帝国 ローマ帝国の繁栄と衰退 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 4 | 古代から中世へ 西ヨーロッパ世界の成立 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 5 | 中世ヨーロッパとキリスト教 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 6 | 中世都市の成立 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 7 | 近世ヨーロッパの形成 主権国家体制の成立 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 8 | 近世国家の統治 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 9 | 近代社会の確立 市民革命の時代 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 10 | 自由主義と国民主義 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 11 | 帝国主義 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 12 | 第一次世界大戦 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 13 | 戦間期の世界 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 14 | 第二次世界大戦 予習： 高校教科書の該当箇所を読む。(2時間) 復習： 授業内容を簡潔にまとめる。(2時間) | | | | | |
| 15 | 東西冷戦と総括、学習到達度の確認 予習： 東西冷戦について調べる。(2時間) 復習： 今まで授業内容についてまとめたものを整理し、見直す。(3時間) | | | | | |
| その他 | 各自の持っている高校世界史教科書を参照すること。持っていない者は購入するか譲り受けるなどして入手しておくこと。出版社は問わない。 ※Gか：【選択必修(ウ)】 | | | | | |